

つなげるために…

1 知る

簡単に使えるAED

駅 やスポーツセンター、学校などで見かける機会が増えたAED（自動体外式除細動器）。

AEDは、心臓の筋肉がけいれんを起こして、心臓から血液が全身に送ることができない状態のとき、心臓に電気ショックを与えて、正しいリズムを取り戻すための治療機器です。

以前は、AEDの使用は、医師や救急救命士などに限られていましたが、平成16年7月からは、**だれでも使用できる**ようになりました。

AEDは、電源を入れるか箱を開けると音声の流れ、操作方法を案内します。電気ショックが必要かどうかの判断は、AED内のコンピューターが自



AED（自動体外式除細動器）

中には電気ショックを与える機器とパッドなどが入っています。機種により多少の違いはありますが、使い方はほとんど同じです。

動的に行います。電気ショックの必要がないときは、ボタンなどを押しても電気は流れません。

専門知識は必要なく、だれでも簡単に使用することができます。

心室細動を回復させる

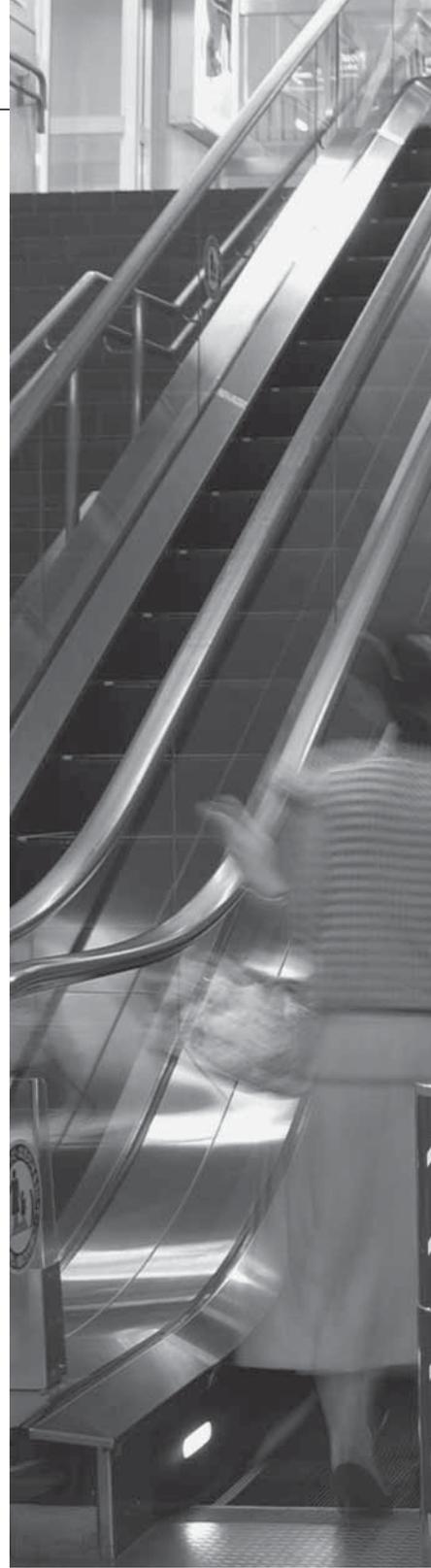
心臓の筋肉がけいれんを起こし、全身に血液を送るポンプとしての役割を失った状態を**心室細動**といいます。

心室細動は不整脈のひとつで、自然に回復することはほとんどありません。そのままですると完全に心臓の動きが止まってしまい、命を落としてしまいます。

心室細動を治療する方法は、AEDなどの機器で電気ショックを与え、正常な心拍を取り戻すことといわれています。

倒れた方の心臓が止まっているときは、AEDを使った救命処置を行うことが有効です。

さまざまな場所で見かけるAED。AEDを使った救命処置が、なぜ大切なのでしょう。



JR千歳駅構内に設置されているAED。一日に7千人以上の方が利用するとき、そこに居合わせるのはあなたか

心室細動時



心室細動時と正常時の心電図波形

心室細動を起こした状態では、血液を全身に送ることができません。

